

橋の耐震補強、無電柱化整備は目標を達成 道路の死傷事故、渋滞損失時間は若干改善

- 今年度の目標達成に向け、県民との協働、コミュニケーションを図っていきます -

沖縄ブロック幹線道路協議会において、昨年度（平成17年度）に業績計画書として策定した目標計画の達成度を確認・評価・分析し、今年度の目標計画を設定した「沖縄における道路行政の平成17年度達成度報告書/平成18年度業績計画書」を策定しました。

9月28日に沖縄地方道路懇談会（別紙：メンバー一覧）を開催し、メンバーの皆様の意見を踏まえ、最終策定しています。

【目的】

道路行政においては、実施している施策・事業の効率化と透明性の向上を目指し、平成15年度から「成果志向」の考え方にに基づき、事前に事業の成果の数値（アウトカム指標）目標を設定、効率的に成果を意識した事業を実施し、実施事業の評価・分析を行ったうえで、以降の施策・事業に反映させる道路行政の仕組み（＝道路行政マネジメント）を導入しており、その取組みの中の一つとして「達成度報告書/業績計画書」を毎年策定しています。

【主なアウトカム指標の平成17年度の達成度】

空港・港湾まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合

目標値：62.6%以上 実績値：62.6%【達成】

（分析結果：豊見城道路の開通等、事業が計画通り完成したため、目標を達成できた）

道路渋滞による損失時間（渋滞モニタリング区間）

目標値：45.5百万人時間/年以下 実績値：48.7百万人時間/年【未達成】

（分析結果：目標を達成することができなかったが、渋滞対策実施箇所では、対策前に比べ渋滞が緩和したため、取組みの効果はある程度あった）

道路交通における死傷事故率

目標値：72.5件/億台km以下 実績値：75.8件/億台km【未達成】

（分析結果：目標を達成することができなかったが、事故対策実施箇所では、対策前に比べ事故が減少したため、取組みの効果はある程度あった）

耐震補強済橋梁の割合

目標値：36.6%以上 実績値：36.6%【達成】

（分析結果：国道58号大宜味村平南橋の耐震補強の実施等、事業が計画通り完成したため、目標を達成できた。）

無電柱化整備率

目標値：62%以上 実績値：62%【達成】

（分析結果：国際通り線の部分完成等、事業が計画通り完成したため、目標を達成できた）

【平成18年度の目標計画】

平成18年度の目標達成に向けて、特に渋滞対策及び事故対策については、従来のハード施策の取組みを鋭意推進していくほか、県民・道路利用者との協働、コミュニケーションを図っていくため、下記ソフト施策の取組みを進めていきます。

渋滞対策の取組みとして、公共交通を有効活用すべく、パーク&バスライド社会実験等のソフト施策を実施。

事故対策の取組みとして、地域住民等と協働した事故対策を検討する懇談会の開催、対策後の効果に関する評価パトロールの実施、事故多発箇所の交通事故安全マップの作成等といったソフト施策を実施。

平成18年10月12日
沖縄ブロック幹線道路協議会

問い合わせ先：沖縄総合事務局開発建設部道路建設課

課長 田中 衛

道路計画調整官 喜舎場 正秀

電話 098-866-0091（直通）

平成18年度 沖縄地方道路懇談会メンバー

座長	上間 清	琉球大学名誉教授（交通計画）
メンバー	富川 盛武	沖縄国際大学教授
メンバー	比嘉 良雄	学校法人興南学園理事長
メンバー	儀間 紀善	那覇商工会議所会頭
メンバー	上原 徹	沖縄タイムス社編集局次長
メンバー	前泊 博盛	琉球新報社編集局次長
メンバー	幸地 優子	フリーアナウンサー
メンバー	備瀬ヒロ子	(株)都市科学政策研究所代表取締役所長
メンバー	与座 嘉博	沖縄県旅行業共同組合理事長 (株)国際旅行社代表取締役社長)
メンバー	堤 純一郎	琉球大学教授
メンバー	矢吹 哲哉	琉球大学教授
メンバー	小濱 哲	名桜大学教授

<事務局>

沖縄総合事務局

沖縄県